

出雲街道根雨宿まちなみづくり研究会 根雨のまちなみを守る・育てる・伝える

かつて出雲街道の宿場町として賑わっていた根雨のまちには、その面影を今に伝える建物や旧跡が残っています。

「出雲街道根雨宿まちなみづくり研究会」は、地域住民の手で根雨のまちなみを保存し、未来へ残そうと活動しています。



近藤家住宅

●今に残る宿場町の面影

根雨のまちは、江戸時代には根雨宿ねぐりと呼ばれ、出雲街道の主要な宿場町として多くの旅人が往来していました。今も根雨の街道筋には、江戸期から明治・大正・昭和にかけて地域の産業・経済の中心となっていた近藤家の住宅をはじめ、本陣の門、祇園橋、歴史民俗資料館、旧根雨公会堂など、昔の面影を残す建物などが多く残っています。



本陣の門

●地域住民約40人で結成 まちなみの再生を図る

出雲街道根雨宿まちなみづくり研究会(田貝英雄会長)は、失われつつある古き良き根雨のまちなみの魅力を活かし、地域住民の力でまちなみの再生を図ろうと、今年の3月に結成されました。

研究会は、根雨地区住民を中心とした約40人で結成されています。田貝会長は結成のきっかけについて、「日頃の町民同士の会話の中で、根雨のまちなみ保存ということが何度か話題にのぼっていたことがあり、それが自然とこのような流れになった」と語ります。

最初に取り組んだのは、地



町歴史民俗資料館

元の人でも現物を見ることのない近藤家の古文書類の展示で、6月に町図書館と日野総合事務所で行いました。

また、研究会は県の「地域のまちなみづくり自立支援事



さまざまな意見が出る「基本計画策定委員会」

業」の登録団体の認定を受け、「出雲街道根雨宿まちなみづくり構想」を作成し、さらに構想を実現するため、「まちなみづくり基本計画」を新たに作成することになっています。基本計画の検討のため、研究会の中に「基本計画策定委員会」を設置し、月1回会議を開いています。

●「まちなみづくり構想」

研究会が作成した「出雲街道根雨宿まちなみづくり構想」は、「歩きたくなる根雨のまちなみづくり」を目標として研究会が取り組んでいくための基本的な構想で、現在検討されている内容は次のとおりです。

出雲街道根雨宿まちなみ
づくり研究会「まちなみづ
くり構想」

(1) 歩きたくなる街道の再生

歴史街道景観の維持・拡充
出雲街道の景観をつくる家
屋や水路などを修復する場合、
できる限り以前の風情のまま
に再生されるよう呼びかけ、
誰もが歩いて情緒を感じる景
観を維持していく。あわせて、
まちなみ条例の制定やファ
サード（建築物の正面）改装
助成にも取り組んでいく。

水路を活用した交流舞台の
創出

出雲街道沿いを流れる水路
を活用した小水力発電の導入
を研究し、新しい歩行空間を
作る。

(2) 交流の場の創出

近藤家住宅の修復

鳥取県西部地震により崩れ
かけた壁や、老朽化している
屋根など、近藤家住宅の修復
を行い、古文書などの貴重な
資料を体感できる資料館とし
て、また、地域内外との歴史・
文化交流の拠点とする。

ミニギャラリーの創出

役場や総合事務所、根雨駅
などのほか、宿場町を思わせ
る建物に近藤家古文書や根雨
宿の現風景、古民具などを展
示し、交流の拡大を図る。ま
た、町内の金融機関が行って
いる「まちかど美術館」の支
援も行う。

出雲街道をテーマにしたイ
ベントの開催

まちなみを点検し、まちな
みを自らづくり、まちなみへ
の愛情を育てるイベントを開
催する。

(3) 案内・由来板の充実

根雨宿の歴史、史跡、名所
などを紹介する由来板を設置
する。

根雨のまちなみの主な建物

■近藤家住宅 江戸後期に建築。母屋と土蔵からなり、
それを取り囲む土塀とあわせて、地域経済の中心であった
近藤家の偉業を今に伝える。

本陣の門 参勤交代の際の本陣（宿泊所）とされてい
た梅林家の門で、旧根雨郵便局敷地内にあったものを現在
の場所に移築している。

祇園橋 昭和8年、県道根雨新見線の祇園橋として架
けられた。コンクリート造りだが、欄干の擬宝珠や、両端
の石灯籠など、木造橋そのままの造りで根雨神社や板井原
川の景観と見事に調和している。

■町歴史民俗資料館（旧根雨公会堂） 昭和15年、近
藤家が根雨公会堂として町に寄付。周囲との調和を考えた
モダンながらもシンプルな外観と、当時の最新文化の粋を
集めた内部からなる。

日野町公舎 近藤家の分家のひとつ、出店近藤家が明
治初年に建築し、のちに町が譲り受け町公舎としている。
江戸時代の町屋の平面構造・形態を継承し、筋向いの近藤
家住宅とともに、まちなみの重要な役割を担っている。

山陰合同銀行根雨支店 昭和4年に建築。まちなみ
の中でも異彩を放つ重厚な洋風建築である。

(4) ボランティアアガイドの
養成と組織化

地域住民の誰もが「まちな
みガイド」ができるよう、少
しずつボランティアアガイドを
養成していく。

(5) 出雲街道周辺の再生

オシドリの館の再生
来訪者のニーズに応じたオ
シドリの館の再生を研究し、
利用者の拡大を図る。

地域活動と一体となった板
井原川の再生

清流と親しむことができ、
ホタルやカジガが生息する環
境を整え、出雲街道と板井原
川が一体となった環境をつく
る。

●研究会のこれから

研究会は、この「まちなみ
づくり構想」の実現のための
具体的な取り組み計画である
「まちなみづくり基本計画」
を10月に作成することにして
います。

田貝会長は、これからの目
標を、「ここにしかない貴重な
歴史遺産の価値を知り、それ

をうまく活用して
もっと元氣な町に
したい。また、わ
かりやすく人に伝
える活動に取り組
み、多くの人でに
ぎわうまちにして
いきたい」と語り
ました。

また、自分達が
今できることを
やっていこうと、
地元ボランティア
と連携した清掃作
業なども行っていきます。

「まちなみづくり」から、
「新たなまちづくり」へ。地
域住民の手によって、根雨の
まちなみが生まれ変わるつと
まっています。みなさんも、身
近なまちなみや景観の中で、
守っていききたいもの、未来へ
残していきたいものについて
考えてみましょう。

「おねがい」「まちなみづく
り」について、町民のみなさ
んのご意見がありましたら、
会長 田貝英雄さん（根雨）
または事務局長 池原和夫さ
ん（根雨）までお寄せください。

